

学校図書館支援センター通信 169号

令和4年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



学校と公立図書館、学校間で本を相互に貸借する「図書相互貸借システム」を円滑に進めていくにあたり、配送業務は重要な役割を担っています。配送の冊数や配送時間などの状況についてお伝えします。今後も計画的にネットワーク便を活用していただけると幸いです。（以下の表の数値は、令和4年4月から令和4年12月までの数値となります。）

図書等配送数

校種	借りた本を返した数 (冊)	依頼があって出す本 (冊)
小学校	8,277	6,334
中学校		
義務教育学校	5,810	8,032
特別支援学校		
幼稚園	99	40
中央図書館	98	3,758
合計	14,284	18,164
【配送数 TOP3】		
① 11月18日（金）	1,496冊	
② 11月25日（金）	1,301冊	
③ 6月10日（金）	1,268冊	

【図書等配送数】

11月中旬から下旬にかけて、配送される本が多くなっています。各学校で、校内授業研究会や4年目研修での学校図書館を活用した授業展開が多く実施された時期でもあります。

ここ数年、配送数が減少していましたが、今年度の図書等配送数は増加に転じています。

昨年、一昨年と新型コロナウィルスの影響で、本の使用後には消毒をするなど、本の取り扱い方が難しく、本の使用控えがあったのではないかと考えられます。今年度は、教育活動もコロナ前の状態に戻りつつあることから、本の活用もコロナ前に戻りつつあるのだらうと推測されます。また、各学校にて学校司書の方々を中心に、本の活用を呼び掛けていることも図書等配送量増加の要因の1つと考えられます。

【配送時間】

今年度の6月より妙典橋を通るようにコースを変更したことや配送業者の変更により、前年度までとは学校の到着時間が異なっています。

Aコースの最後の学校に到着する時刻は、上記の表から15:30、Bコースは14:45くらいとなります。これはあくまで平均の時刻ですので、交通状況や本の配送量により、到着時刻は変わってきます。

配送時間が短縮されることで、本の整理や事務作業の時間、教職員や子供たちへの支援に充てる時間をより確保できることが考えられます。

これらの結果が学校図書館業務の業務改善につながっていただければ幸いです。

配送時間

項目	Aコース	Bコース
平均配送時間	7時間30分	6時間45分
両コース 平均配送時間	7時間8分	

「ネットワーク便のお知らせ」 取組事例

学校の立地や校舎と車が入る門との位置関係など、学校の状況は様々です。配送経路からよく見える図書館の窓に大きく「O」「X」を掲示し、配送がスムーズに行われるよう工夫した学校もあります。



ネットワーク便に出すものがないときのみ、正門に貼る

学校図書館研修会Ⅲ 開催！

1月25日（水）に生涯学習センター2階グリーンスタジオにて、今年度最後の学校図書館研修会が開催され、市川市学校図書館活用推進協力校である、柏井小学校と第七中学校が実践発表を行いました。

柏井小学校は、研究主題を「図書館に行こう 本を読もう」と設定し、子供たちの読書意欲や知的な好奇心を向上させる取組について発表をしました。

委員会活動や読書週間での取組、公開研究会での実践の成果などを参加者と共有しました。参加者からは、「とても身近に感じられる発表でした。今後、子供たちがどのようにしていくのが楽しみです。」「勤務する校種でも、是非活用していきたい内容を知ることができて良かったです。」などの感想が寄せられました。

第七中学校は、「各教科・領域のねらいを達成するために、学校図書館を利用し、指導する具体的な方法を探る。」「どの教科でも、どの指導者でも、身近に授業の中で学校図書館を活用できるようにする。」を研究テーマに、これまでの研究成果の蓄積を更に発展させる取組について発表しました。

本とタブレット端末を併用した「七中版 SDGs検定をつくろう」の実践発表について、参加者からは、「図書館のメディアを使った授業をするとどのように児童生徒に有効であるか再認識できた。」「ICTを活用し、タブレット上でSDGs検定やパスファインダーを作成するなど、とても面白く、小学校でも実践できたらと思いました。」などの感想がありました。

図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～

10月に実施した読書週間では、「お化けや妖怪が出てくる本やこわい本を読もう」をテーマにおすすめ本の掲示、クイズ、おはなし給食、動画での読書集会などの取り組みを行いました。活動の中心となったのは図書委員です。窓を開けると妖怪が登場する装飾や、人形劇も取り入れた読書集会の動画は評判がよく、動画で紹介した本の問い合わせも多く寄せられました。読書週間の振り返りでは、図書委員から「すごく充実感を得られた。」という感想も出ました。

本と子供たちをつなげ、成長に寄り添うことができる、そんな学校図書館を先生や地域の皆様と協力しながら作っていきたいと思います。



読書週間で掲示した装飾

（市川市立幸小学校 学校司書 奥 あゆみ）

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>



柏井小学校の千葉教諭と学校司書の小山さん



第七中学校の釜谷教諭と学校司書の浜岡さん